

記入例

※エクセルの場合、Altキー+Enterキーを押すと改行できます。

揮発性有機化合物排出施設設置[★](~~使用、変更~~)届出書

実際に届出する年月日を記入してください。
(着手予定日の60日前までに届出が必要です。)

⇒ 年 月 日

☞届出する事業者の社名・代表者（役職含む）・連絡先・電子メールアドレス・担当者名を記入してください。（ゴム印可）
☞押印を省略しても届出可能ですが、電子メールアドレスの記入をお願いします
☞法人の代表者が記入・押印された委任状があれば、工場長等を事業場の代表者としても構いません。

西宮市長様

★について

不要な箇所は二重線を記入する。
(届出内容) (二重線の箇所)
【設置】第17条の5第1項 ⇒ 使用、変更
【使用】第17条の6第1項 ⇒ 設置、変更
【変更】第17条の7第1項 ⇒ 設置、使用

届出者 (氏名又は名称及び住所) (法人にあってはその代表者の氏名)

氏名又は名称 **△○□株式会社**
(〒○○○ - △○○○)

住所 **西宮市○○町○○番○○号**

代表者の氏名 **代表取締役 西宮 ○太郎**

電話番号 **0798-○○-○△□×**

電子メール **×○□@▲■●.◎▽.▼◇**

担当者名 **西宮 □一郎**

大気汚染防止法第17条の5第1項[★](~~第17条の6第1項、第17条の7第1項~~)の規定により、揮発性有機化合物排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名	△○□株式会社西宮工場	※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地	西宮市○○町○○番○○号	※ 受理年月日	年 月 日
揮発性有機化合物排出施設の種類	項3 塗装の用に供する乾燥施設	※ 施設番号	
揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法	別紙1のとおり	揮発性有機化合物排出施設の項番号、施設の種類を記入して下さい。 項番号は法施行令別表第1の2に掲げるもの	
揮発性有機化合物の処理の方法	別紙2のとおり	※ 備考	

【備考】

- 揮発性有機化合物排出施設の種類欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の2に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
- 排出ガスを処理施設において処理していない場合には、別紙2の届出は必要ない。

揮発性有機化合物排出施設の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号	ローローター乾燥機 NO. 1	施設番号は、工場等で呼称するものでA-01等で記入してください。
名称及び型式	●社製 A-1型乾燥機 (IKI-89)	一般的な施設名称、メーカー名・型式等を記入してください。
設置年月日	年月日	年月日
設置届の場合は、着手予定・使用開始年月日のみ記入してください。		
着手予定年月日	令和◎年△月×日	年月日
着手予定年月日が届出日より60日以上となっているかを確認してください。		
使用開始予定年月日	令和■年●月◆日	年月日
規模	送風機の送風能力 (m ³ /h)	18,000
	排風機の排風能力 (m ³ /h)	19,000
	揮発性有機化合物が空気に接する面の面積 (m ²)	
	容量 (kL)	
		【必須項目】 メーカーのカタログ値等を参考に記入してください。
1日の使用時間及び使用日数等	9時～17時 8時間/回 1回/日 25日/月	時～時 時間/回 回/日 日/月
排出ガス量 (Nm ³ /h)	4,236	
使用する主な揮発性有機化合物の種類	①トルエン ②キシレン	施設から排出されるガス量、物質名及びその排出濃度をメーカーカタログ値または実測値より記入してください。
揮発性有機化合物濃度 (容量比 ppm (炭素換算))	①200 ②350	
参考事項	下記備考9を参照してください。	

【備考】

- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の2の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 揮発性有機化合物排出施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。
- 4 排出ガス量は、湿りガスであって、最大のものを記載すること。
- 5 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態における量に換算したものとす。
- 6 揮発性有機化合物排出施設が貯蔵タンクである場合には、排出ガス量の欄には記載しないこと。
- 7 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
- 8 揮発性有機化合物濃度は、揮発性有機化合物の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
- 9 参考事項の欄には、揮発性有機化合物の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、揮発性有機化合物の排出の抑制のために採っている方法（排出ガスを処理施設において処理しているものを除く。）等を記載すること。

揮発性有機化合物の処理の方法

揮発性有機化合物の処理施設の工場又は事業場における施設番号	蓄熱式処理装置 NO. 1	施設番号は、工場等で呼称するものでA-01等で記入してください。	
処理に係る揮発性有機化合物排出施設の工場又は事業場における施設番号	ロールコーター乾燥機 NO. 1		
揮発性有機化合物の処理施設の種類、名称及び型式	◆社製 B98-a型脱臭装置	一般的な施設名称、メーカー名・型式等を記入してください。	
設置年月日	年月日	年月日	
設置届の場合は、着手予定・使用開始年月日のみ記入してください。			
着手予定年月日	令和◎年△月×日	年月日	
着手予定年月日が届出日より60日以上となっているかを確認してください。			
使用開始予定年月日	令和■年●月◆日	年月日	
排出ガス量 (N m ³ / h)	4,236	処理施設から排出されるガス量、物質名及びその排出濃度をメーカーカタログ値または実測値より記入してください。	
揮発性有機化合物濃度 (容量比ppm(炭素換算))	処理前		①トルエン 4,000 ②キシレン 2,500
	処理後		①200 ②350
処理効率 (%)	95.0		

【備考】

- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 排出ガス量は、湿りガスであって、最大のものを記載すること。
- 3 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
- 4 揮発性有機化合物の処理施設の構造及び主要寸法を記入した概要図を添付すること。